

営業の概況

営業の経過

創業5期目にあたる当期は、新しい商品・サービスの投入に取り組みつつ、顧客基盤の拡大、ネット決済機能拡充による振込手数料の増強、ATMチャネルの見直し、運用資産の積上げと利回り向上、抜本的な経費削減による収益力の向上に注力いたしました。また大型の提携案件として、プロミス株式会社と保証業務委託を含む包括的な提携を開始し、日本中央競馬会(JRA)との即時投票サービスの開始に向けた準備を進めてまいりました。

顧客基盤の拡大

顧客基盤を拡大するため、サービス・利便性の向上を図り、有力ネット企業や公営競技との提携に注力したほか、急拡大するSOHO市場をターゲットに中小法人や営業性個人向け口座であるビジネスアカウントの推進に注力いたしました。その結果、普通預金口座数は期中20万口座増加し、期末は105万口座となり、創業来の一つの目標であった100万口座を達成しました。そのうちビジネスアカウントは期中7千口座増加し、期末は16千口座となりました。

利便性の向上・新サービス

2004年4月には、取引の透明性を求めるネットオークションユーザーのニーズに応えるため、ネットバンキングとして初めて普通預金取引明細への時刻表示を開始しました。9月には外為保証金取引の媒介サービス「外為どっとコムforJNB」を開始し、10月には楽天証券、11月にはSMBCフレンド証券との証券口座開設の取次サービスを開始しました。2005年3月には、2005年4月のペイオフ本格実施に先立って、全額が預金保険の保護対象となる決済用預金の取り扱いを開始しました。またキャッシュカード偽造が社会的に問題になる中、ATM入出金時の即時メール通知サービスや出金限度額変更サービス等の安全強化策の実施を決定しました。これらの安全強化策は、2005年4月より開始しております。

ネット決済機能の拡充

本年度は、既に競艇・競輪において好評を得ている公営競技の即時投票サービスの提携先拡大と、急拡大するSOHO事業者向けの決済サービスの拡充に注力しました。公営競技との提携としましては、2005年6月より日本中央競馬会(JRA)との決済提携を開始しました。これは競馬ファンに土日でも投票資金や配当金の入出金が随時可能な利便性の高い決済スキームを提供するもので、既に多数のお客さまにご利用いただいております。同じく南関東4競馬場とも、2005年5月に即時投票サービスの提携を開始しました。SOHO事業者向け決済サービスとしましては、2004年6月に1回の操作で大量の振り込みを行える「WEB一括振込」を開始したほか、2004年11月には、受取人専用のURLを提供することで、口座番号を入力することなく振り込みを行える「JNB-J振」を開始しました。「JNB-J振」は、従来のリンク決済の機能がどなたにも無料でご利用いただけることから、2005年6月現在で約4万の登録をいただいております。

ATMチャネルの見直し

ATMチャネルの見直しとしましては、入金手数料を一部改定したほか、アイワイバンク銀行との提携を推進いたしました。従来ATMでの入金はすべて無料でしたが、お客さまに相応の負担をお願いする観点から、5万円以上の入金を無料とする一方、5万円以下について無料回数分を超えた場合に有料としたものです。アイワイバンク銀行との新規ATM提携は2005年4月より開始し、利用可能な地域の拡大、ATM数の増加により、入出金の利便性が大きく高まりました。